

令和6年度 木曾教育会 養護教育委員会研究のまとめ

委員長	小林早百合	(木曾町中学校)
副委員長	池口真由美	(南木曾小学校)
委員	小林 望見	(木祖中学校)
委員	黒田 直美	(日義小中学校)

一 研究テーマ

木曾の子どもたちに生じている心身の健康上の問題を解決するための支援のあり方や保健室経営、感染対策について考える。

二 テーマ設定の理由

児童生徒の疾病・異常等の健康状況は、子どもたちを取り巻く環境や生活様式の変化に伴い変わってきており、保健室での対応も多岐にわたっている。生活習慣に関わる対応、食物アレルギー対応、集団不適応を主訴とする発達障がいの児童生徒への対応などに加えて、感染症の予防対応とそこから起因する様々な課題もあげられる。また、頭痛・腹痛・気持ちが悪い等の身体的な症状を訴えながらも、その背景には精神面での悩みがあると思われる児童生徒の保健室利用も増加しており、ますます保健室の役割が大きくなってきている。

そこで、感染症予防・救急処置・疾病予防・保健指導・健康相談等に関する研修の機会を通して、養護教諭の実践を共有しあったり、講師の先生方からご指導いただいたりする中で、児童生徒に対する支援のあり方について学び、今後の活動に生かしていきたいと考え本テーマを設定した。

三 研究内容

1 研修会の開催

(1) 第1回木曾郡養護教諭研修会

6月12日(水) 14時10分～16時30分 会場：木曾教育会館

目的 令和7・8年度長野県学校保健会養護教諭部会に関わる木曾郡としての活動の在り方を考え準備を行って行く。また情報交換を通して養護教諭の横の繋がりを深めていきたい。

内容 ①養護教育委員会活動についての協議・確認

- ・木曾郡統計について
- ・令和7・8年度木曾教育会の委員会活動について
- ・木曾郡研究発表について

②養護教諭育成支援リーダー研修 情報伝達 等

③日常執務の情報交換

【成果と課題】

- ・養護教育委員会の活動内容を検討し、今後の方向を確認できた。
- ・研修・情報交換を通して、日常執務の確認ができた。また、今年度最初の会として、気軽に相談し合える関係づくりができてよかった。
- ・気軽に相談し情報交換できる機会は大切であり、今後も設定していきたい。

【参加者の感想と学んだこと】

- ・日々の悩みを共有することが出来、大変よい時間でした。
- ・各校の様子が分かり、とても参考になりました。
- ・健康診断・スポーツ振興センター手続きなど、日常執務に関する情報をいただき、不安なことも確認出来てありがたかったです。
- ・温かい雰囲気の中で、気軽に相談ができてよかった。

(2) 木曾郡保健主事・養護教諭合同研修会

11月6日(水) 14時10分～16時30分 会場：木曾教育会館

- 目的
- ・外部講師によるがん教育について学び、選択肢のひとつとして、各校の状況に合わせたがん教育の取り組みの参考としたい。
 - ・保健室登校・保健室利用をする児童生徒への支援について事例を通して学びを深める。

内容 ①がん教育について

- ・講話 長野県立木曾病院 内科医師 小泉 知展先生
- ・各校の様子

②児童生徒の心のケア ～保健室としてできること～

- ・事例検討・情報交換

③日常執務の情報交換

【成果と課題】

- ・外部講師を活用したがん教育について学ぶことができた。学校の状況に合わせてよく検討し、選択肢に入れながらそれぞれの学校に合わせた計画を進めていくことが大切である。
- ・事例を通して学び合うことができた。児童生徒一人ひとりに寄り添った支援の仕方を校内で検討・共有していくことが必要であり、保健室で抱え込まないように情報交換・連携を大切にしていきたい。

【参加者の感想と学んだこと】

<がん教育について>

- ・お話を聴きすることができてよかったです。外部講師を利用した授業や活用方法について参考になりました。
- ・外部講師活用の進め方がよく分からなかったため、具体的に教えていただきよかったです。
- ・進めるにあたっての課題も教えていただき、がん教育の手引きをしっかりと読んで校内で話し合いながら進めていくことや準備が必要だと思いました。

<児童生徒の心のケアについて>

- ・いろいろな児童・生徒がいて、支援の仕方もそれぞれあるため、その子に合った支援の仕方を考えていくことが大切だと感じました。
- ・保健室の役割・教室の役割、それぞれの分担と連携の重要性を感じました。

<日常執務の情報交換>

- ・事前アンケートをもとに様々な情報共有ができてよい機会でした。直接会って話をする、話を聞いてもらえることは大切だと思いました。
- ・日常執務の情報交換はぜひお願いしたい。

(3) 第3回木曾郡養護教諭研修会

2月4日(火) 14時10分～16時40分 会場：木曾教育会館

①目的 学校保健活動について、現状と課題についての講義から学びを深める。

②内容 ・講義 「学校保健の現状と課題」

講師 保健厚生課指導主事 笠井 佳代子先生

- ・日常執務についての情報交換を中心に1年間の活動のまとめ

四 研究の成果と今後究明すべき課題

1 明らかになったこと

(1) 研修を通して養護教諭としての資質を高める

- ・多様化する児童生徒の健康課題に対応するため、講義・情報伝達等を通して、養護教諭としての専門性を培う研修の場は必要である。
- ・本年度は、がん教育の外部講師活用について申し込み方法や授業の様子を具体的に教えていただき、また、保健室でかかわる児童生徒の事例検討を通して一人ひとりに寄り添いその子に合った支援をしていくことの大切さを学んだ。いずれも、校内でよく検討し職員で共有しながら進めていくことが必要だと感じた。

(2) 情報交換の場を大切に考える

- ・養護教諭は学校に一人の職種であるため、情報交換をして互いに学び合う研修会の時間は大事であり今後も設定していく。
- ・情報交換をしながら日常の悩みを相談し、気軽に話ができる養護教諭の横の繋がりを大切にしたい。

2 今後の課題

- (1) 感染症に関する最新情報の把握と対応を的確に行う。
- (2) 養護教諭としての資質を高めるため、会員の要望、現代における健康課題等を大切にしながら、充実した研修を行っていく。
- (3) 郡内高校の養護教諭との情報交換の場を適宜設定し連携していく。
- (4) 養護教諭が参集し、研修・情報交換できる機会を今後も設定していく。